



デニムの産地・福山から未来のためにできること。



SHINOTEXのソックスや手袋は、デニム生地 of 製造工程で余ってしまった糸や布を再利用して作られています。旧式の編立機で編み上げたローゲージソックスは、足を優しく包み込むようなふんわりと柔らかな風合い。一度はいたらやみつきになってしまうは心地の良さで、「実は、福山のデニムから生まれたソックスなんです」と、大切な誰かに贈りたくてしまうはず。これまで当たり前捨てられていたものが、新たなプロダクトに生まれ変わる。その過程には、あえて手間を惜しまず、丁寧なものづくりにこだわる職人たちのこだわりと愛があふれていました。

(左) 篠原テキスタイル株式会社
営業 藤井 隆志さん



(右) 篠原テキスタイル株式会社
企画・営業 篠原 立哉さん

SHINOTEXは、広島県福山市でデニム織物を製造する『篠原テキスタイル株式会社』がさまざまな技術を持つ地元企業とコラボレーションして生まれたオリジナルブランド。『篠原テキスタイル株式会社』は1907年に併製業として創業し、現在はデニム生地製造に特化したテキスタイルメーカーです。デニム生地の製造工程で、どうしても発生してしまうのが残糸や残布



などの廃棄物。これまで処分されていた廃棄物を再利用して、篠原テキスタイルらしいものができないかと考え、完成したのがローゲージソックスです。このソックスに使用してい

るのは、デニムを製造する際に余った糸と、端切れや余った生地をバラバラに解いて綿状にし、再度つむぎ直したアップサイクル糸。あえて手間を惜しまず、丁寧なものづくりにこだわることで、福山らしく、そして篠原テキスタイルらしいアイテムになりました。



ふんわり足を包み込む、ローゲージだから心地良い

環境への配慮だけでなく、デザイン性や品質の高さにも自信があります。ソックスの編立を依頼している『有限会社栗原ニット』が使用しているのは、希少な旧式の編立機。最新の機

械と違ってゆっくりとしたスピードで編み上げるため、糸が持つ膨らみを損なうことなく、ふっくらと柔らかな風合いに仕上がるのです。極太の糸を肉厚に編み上げたローゲージソックスは、足を優しく包み込み、クッション性が高いのも自慢。通気性・吸汗性に優れ、シーズンを問わず快適にはいていただけます。ナチュラルなデザインに、ワンサイズの展開であるのは、どんな着こなしの邪魔もせず、性別や年齢を問わずはいていただきたいという思いを込めています。材料は残糸やアップサイクル糸なので、定番はごく一部。カラーやデザインがその都度変化していくのも魅力ですね。



★★★
POINT
デニムの残糸や残布を再利用
デニムを製造する際に余った糸と、はぎれや残布をつむぎ直したアップサイクル糸を再利用している。

★★★
POINT
地元企業がコラボレーション
靴下の編立は地元の老舗ニットメーカーに依頼するなど、繊維産地ならではの協働が実現。



FUKUYAMA
BRAND

2021年度認定!!

第7回 素材・技術部門

商品情報◎SHINOTEX

手袋 1,650円(税込)~
ローゲージソックス 1,320円(税込)~
ニットキャップ 5,390円(税込)
パプーシュ 3,520円(税込)

事業者名◎篠原テキスタイル株式会社
住所◎福山市駅家町中島703
問い合わせ先◎084-976-1511
Web◎<https://www.shinotex.jp>
<https://shinotex.buyshop.jp/>

購入可能場所

◎篠原テキスタイル株式会社、
オンラインショップ、FUKUYAMA MONO SHOP、
瀬戸内小物と暮らしの雑貨 MASUYA、
Torchon ほか



あらゆる技術が集積した福山らしさをPRしたい

福山は国内でも有数の繊維産地で、あらゆる技術が集積するエリア。デニムの製造も、紡績、染色、織布、縫製、加工などが分業で行われています。それぞれが技術を磨き、互いに協力し高め合っているんです。SHINOTEXも、私たちの力だけでは生まれなかった商品。いろんなアイデアや技術が合わさることで、少しずつ広がってきました。今では、手袋やニットキャップなども登場。人と人がつながり、企業と企業がつながることで新たな価値が生まれます。SHINOTEXのようなアイテムが、福山の繊維産業や産地としてのPRにつながることを願っています。

